施策名	大事項	地球温暖化対策に対する取組み	交通環境部
	中事項	環境負荷の小さい交通体系の構築	
	小事項	公共交通機関の利用促進 [交通バリアフリー施策の推進]	

26年度の計画

a）九州管内の施設の概要

高齢者や障害者など、移動制約者からの社会参加要請の高まり等を背景に、ユニバーサルデザインの考え方を基に、いつでも、誰もが公共交通機関を安全、かつ円滑に利用できるよう、バリアフリー関連補助事業を活用し、バリアフリー施設等の整備を支援します。

【バリアフリー化の目標値】

●旅客施設、鉄軌道車両、乗合バス、福祉タクシー、旅客船、航空機

・旅客施設（利用者数3,000人/日以上のもの）：原則100%
・鉄軌道車両：約70%
・ノンステップバス：約70%(対象から適用除外認定車両を除外)
・リフト付きバス等：約25%(適用除外認定車両)
・福祉タクシー：約28,000台
・旅客船：約50%
・航空機：約90%

25年の計画と評価（達成度）

駅のエレベーター・エスカレーターの設置、ＬＲＴの導入、ノンステップバスの導入、地方公共団体のバリアフリー基本構想の策定の支援等通じて、高齢者、障害者の移動利便性の更なる向上を図る。

◇２５年度末の設置状況

●鉄道駅：ＪＲ九州　エレベーター　１１３駅　←１０９駅
　　エスカレーター　４８駅
　　西　　鉄　エレベーター　２２駅　←２０駅
　　エスカレーター　１７駅

※ 福岡市営地下鉄、北九州モノレールは全駅設置済み

●旅客船ターミナル：多階ターミナル３５施設のうち、エレベーターは３０施設、エスカレーターは１１施設（２２基）に設置済み

●福祉タクシー：１,４０２台　※ 25 年度末の導入台数

●ＬＲＴ：・鹿児島市営１３編成　・熊本市営７編成　・長崎電気軌道　５編成

●ノンステップバス：５８６台　※ 24 年度末の導入台数

●旅客船：４１隻　※うち、25 年度の就隻数　４隻

UDタクシー

ノンステップバス

バリアフリー化船